

令和5年度 六合中学校区地域包括支援センター事業実施計画書

資料4-3

	実施方針	目標	具体的な取り組み
必須項目	高齢者を地域で支える体制づくり	住民主体で高齢者の生活を支えるために地域資源の体制を整える。	地区社協・民生委員・岸町応援隊・道悦島応援隊と連携を強化し課題のある高齢者を早期に把握する。
			市社協、地区社協、応援隊、民生委員、介護支援専門員など関係機関の連携を強化し応援隊の継続について検討を行う。
			在宅生活が続けられるようにセルフケア能力を高め、維持できるようにしていく。
	住民の方の生き方やその人らしい生活を考える機会が持てるように支援する。	人生会議の言葉を知り最期について考える機会を持つ。	
認知症施策の推進	地域住民が主体的に介護予防に取り組めるよう若い世代も参加しやすいような地域づくりを目指す。	認知症の理解を深めるために多世代に認知症サポーターを養成する。	
		認知症を正しく理解し、家族や地域の方が社会参加できる機会を持つ。	
選択項目	多職種、多機関とのネットワーク構築	多職種、多機関と連携してチームで高齢者を支える。	複合的な課題を持つ世帯などに他機関と連携し情報の共有化を図る。
			医療と連携を深め、在宅医療の情報交換を図る。
	センターの認知度を高めるための周知活動	相談しやすい場所、相談窓口として地域活動に積極的に参加する。	センターから離れた場所で気楽に相談できるネットワークを作りを行う。
介護支援専門員に対する連絡体制づくりと実践力向上支援	安定した生活を支える為に適切なケアマネジメントができるように支援する。	経済的な課題や医療が必要なケースに対して、介護支援専門員と各関係機関の連携がスムーズに行えるようにする。	